

「私も神を恐れる者だから。」18節

今回親族の召天に際し、前夜式と告別式に参加しました。人の人生について考えさせられる良いチャンスであり、再び深い悔い改めと、神様の愛のご配慮と憐みを感じる事の出来た時となりました。

ヤコブは飢饉になって食物が亡くなった時、エジプトには穀物があることを知って息子達にエジプトに下って行って穀物を買ってくるように言いつけます。そこから、ヨセフの人生に大展開が起こってきます。6節「ときに、ヨセフはこの国の権力者であり、この国のすべての人々に穀物を売る者であった。ヨセフの兄弟たちは来て、顔を地につけて彼を伏し拝んだ。

」まさに、37章7、9節の夢の実現です。「～見ると、あなたがたの束が回りに来て、私の束におじぎをしました。」～また、私は夢を見ましたよ。見ると、太陽と月と十一の星が私を伏し拝んでいるのです」と言った。～兄たちは彼をねたんだが、父はこのことを心に留めていた。」実に夢を見てから22年経ちました。

兄たちがヨセフの所に来て穀物を買うことを通して、ヨセフが兄たちとわかるのですが、彼はあえて彼らに荒々しい言葉で接し、父ヤコブの事、自分の血を分けた弟の事を聞き出します。ヨセフの言動で、兄たちは自分たちの過去のヨセフに対しての罪を悔い改めるのです。私達も、人生の節目に自分の人生を考え、また特にお葬式、告別式などを通して深く人生を考えさせられるのです。

ヨセフは「**神を恐れる。**」と言いました。まことに全く知らないエジプトに囚人として連れてこられ、神様が共にいるゆえに祝福を得ましたが、神様だけが生きる支えであった彼が、神を畏れたために助けを受け、慰めを受け、また祝福を受けている事を知っていたから、ヨセフは神を恐れずに生きてゆくことは出来なかったのです。兄たちはヨセフから間者として扱われることを通して、過去の悔い改めに導かれます。そしてエジプトでおこったことを父ヤコブに話すのです。かつては嘘を言ってヨセフの長服に血を付けて「これはわが子の長服だ。悪い獣にやられたのだ。ヨセフはかみ裂かれたのだ。」と父に思わせたのですが。

しかしまだヨセフの事について本当のことは言っていません。ここにも神の手が入ります。使徒14：22「私たちが神の国に入るには、多くの苦しみを経なければならぬ」とありますが、きよい神様の前に立つにはあまりに汚れている私達を血汐できよめ、神のみ前に立つことが出来るようにされます。

今回の告別式を通して、そのことを深く想わされました。「主よ。あなたは私を探り、私を知っておられます。」詩篇139：1更に悔い改め、感謝と賛美を持ってリバイバルに備えましょう！！



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会  
Church of the **Firstborn** who are **Registered** in **Heaven**  
主任牧師：イエス・キリスト  
牧師：ダニエル大重

## Siloam

【シロアム：遣わされた者】

2015.3.15 No.832

新年のみ言葉

あなたとともにいるこの民はみな、  
主のみわざを見るであろう。  
わたしがあなたとともに行うことは  
恐るべきものである。

出エジプト記 34：10



The Vision



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>